

「地域福祉実践研究」執筆要項

1. 本誌に発表する論文はいずれも未発表のものに限る。
もし同じデータ、事例、資料などに基づいて、投稿者が別の論文等を執筆して他に投稿している場合には、この旨を明記して、当該論文等を添付すること。
2. 本誌への投稿の分野は、「実践研究」・「実践報告」に分かれる。投稿の際は、各自で投稿分野を明記し申請する。その後、地域福祉実践編集会議（以下、編集会議）の判断で分野が変わることがある。なお、当面査読方式を用いないが、編集会議による実践研究としての形式面を重視した修正に限定して行う。
3. 投稿は原則として自由投稿とする。投稿を希望するもの（筆頭者）は前年度の理事会において会員資格を得ていなければならない。ただし、共同研究者の一部が非会員であることを認める。
4. 自由投稿の締め切りは毎年8月31日（消印有効）とする。
5. 審査及び掲載の最終的な判断は編集会議で行う。
6. 投稿論文等の一編は、原則として16,000字以内（図表および注を含む）とする。
7. 投稿にあたっては、表紙にタイトル（日本文）、会員番号、所属、氏名（ふりがな）を明記する。連名の非会員はその旨明記する。
8. 投稿論文等はコピーを含めて5部提出する。
9. 投稿論文等については、日本語要旨（600字）、キーワード（5つまで）をつけて提出する。
10. 自由投稿以外の記事の依頼は、編集会議において行う。
11. 文体は、口語体、文字は新かなづかい、常用漢字を原則とする。また、数字は、アラビア数字を用いる。句読点は、。を用いる。
12. 投稿原稿に利用したデータや事例等について、研究倫理上必要な手続きを経ていることを本文または注に明記すること。また、記述においてプライバシー侵害がなされないよう注意をなすこと。
13. 原稿は、ワープロ作成によるものを原則として（A4版、横書き）、1ページ全角40字×40行で印字すること（空白部分は、上記分量に含まない）。ただし、英数字は原則として半角とする。
14. 章立ては、下記の要領に従うこと。
節：1. 2. 3.
小見出し：(1) (2) (3) …
以下は、1) 2) 3) … i, ii, iii, …
①、②、③…は、本文中において用いる。
15. 図表には、通し番号（図1、図2、… 表1、表2、…）でタイトルをつける（図表のタ

イトルは、図の場合図の下、表の場合、表の上につける)。

なお、それぞれの図表ごとに別紙(別ファイル)を作成し、本文中に挿入箇所を指定すること。それぞれの図表が他の著作、論文からの引用である場合、出典を明記し、必要に応じて著者の許可を得る。

16. 文献の本文、注等における表示は、著者の姓(発行年=西暦:引用ページ)、ないしは、(著者の姓発行年=西暦:引用ページ)とする。
17. 注は、本文中の該当箇所に、右肩上付きで、1)、2)、3)、…と順に示し、注自体は本文の後に一括して記載する。
18. 文献は、注の後に一括して記載する(著者名のアルファベット順)。
文献の記載は、下記要領によって記載すること。
書籍:著者名・編者名(発行年=西暦)『書名』出版社。

<記載例>

岡村重夫(1974)『地域福祉論』光生館。

斉藤弥生(2007)「日本の介護ソーシャルエンタープライズとその可能性」宮城孝編『地域福祉と非営利セクター』中央法規出版、152-175。

Spicker, Paul, 1995, Social Policy: Themes and Approaches, Prentice Hall/Harvester Wheatsheaf. (=2001, 武川正吾ほか訳『社会政策講義—福祉のテーマとアプローチ』有斐閣。)

論文:著者名(発行年)論文名『掲載誌名』巻、号(または、編者名、収録書名、出版社):該当ページ。

<記載例>

牧里毎治(2003)「地域福祉計画の目指すもの」『地域福祉研究』31:29-37。

なお、欧文の書名、掲載誌名は、イタリック体(ないしは、アンダーラインを引く)とする。また、WEBからの引用の際には、URLとともに引用日を掲載する。

また、同じ著者の文献が複数ある場合:発行年のあとに、アルファベットをつけ、区別する。

共著の場合:著者名を「・」でつなぐ。

付則

2010年5月30日施行

2011年3月31日一部変更

2013年9月22日一部変更